

当センター緩和ケア病棟における投薬状況について

当センターでは、下記のと通りの学術研究を実施しています。この研究を実施することによる患者さん、ご家族への新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守いたします。

なお、情報等について、本研究への利用を望まれない場合には、問い合わせ先へご連絡ください。

【研究課題名】

当センター緩和ケア病棟における投薬状況について

【研究目的】

当センター緩和ケア病棟は2018年10月1日に開設されました。患者さんが緩和ケア病棟に入棟された後、多職種による入棟カンファレンスを行い、主治医から治療経過や予後等の情報提供を受け、入棟後の関わりや治療方針について情報共有を行っています。その際、投与薬剤についても見直し、減薬に対する取り組みを行い、患者さんの服薬への負担軽減に努めています。今回、服用剤数を減らした上で、服用死亡の何日前まで服用出来ていたのかを調査します。これにより、患者さんの状態や予後も鑑みながら投与の妥当性や効果を評価することでより有効な症状緩和に繋げることが期待できると考えております。

【研究方法】

対象となる方：2018年10月1日から6か月間及び2019年10月1日から6か月間に緩和ケア病棟に入棟し、亡くなられた方

使用する情報：原疾患、使用した薬剤と投薬状況

【お問い合わせ先】

この研究についてご質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、情報が研究に使用することについてご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記にお申し出ください。資料・情報の使用を断られても不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申し出が、すでに解析を開始又は結果公表等の後となり、当該措置を講じることが困難な場合もございます。その際には、十分にご説明させていただきます。

日本赤十字社和歌山医療センター 薬剤部

研究責任者 木村 佳世

〒650-8558 和歌山県和歌山市小松原通四丁目20番地

TEL 073-422-4171 (代表) (平日：9時～17時30分)